

別記様式（第 3 条関係）

開催記録

名 称	令和 7 年度 第 1 回会津美里町廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和 7 年 6 月 18 日（水） 午前 10 時から午前 11 時まで
開催場所	会津美里町役場本庁舎 大会議室
出席者	別添委員名簿のとおり 出席：8 名 欠席：3 名 事務局：町民税務課長 大竹淳志 課長補佐 遠藤 香 生活環境係長 小林正裕 建設水道課長 加藤定行 課長補佐 酒井新一 上下水道係長 谷澤貞倫 主任主査 河原田裕
議 題	・会津美里町廃棄物減量等推進審議会について ・第 3 期会津美里町一般廃棄物処理基本計画の策定について ・第 11 期会津美里町分別収集計画について ・令和 6 年度ごみ排出状況について ・令和 6 年度生活排水処理及び事業実施状況について
資料の名称	
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
内容	
1 開 会 《委嘱状交付》 2 町長あいさつ 《職員紹介》 3 会長及び副会長選出 会長：新國文英氏 副会長：大堀明洋氏 を選出 4 諮 問 (1) 第 11 期会津美里町分別収集計画について 5 議 事 (1) 会津美里町廃棄物減量等推進審議会について 【資料に基づき事務局より説明】	

(2) 第3期会津美里町一般廃棄物処理基本計画の策定について

【資料に基づき事務局より説明】

(3) 第11期会津美里町分別収集計画について

【資料に基づき事務局より説明】

(委員) 乾電池は何に該当するのか。

(事務局) 分別収集計画の対象品目は、容器包装廃棄物のうちスチール製容器、アルミ製容器、ガラス製容器、飲料用紙容器、ダンボール、紙製容器包装、ペットボトル、プラスチック製容器包装と製品プラスチックとなっているため、乾電池は含まれない。

乾電池は、燃やせないごみで排出していただく。

(委員) リチウムイオン電池は、別に回収しているのか。

(事務局) 現在、町としては、販売店等の回収を利用していただくよう周知している。今般、国からの通知があったが、受入れ側の市町村の準備がなかなか難しいところで、近隣市町村や環境センターとも協議しながら進めていきたい。

(委員) 第10期分別収集計画との変更点は何か。

(事務局) 見込み等の数値については、現在の人口ビジョンに基づき修正している。5ページからの「容器包装廃棄物の排出の抑制を促進するための方策に関する事項」については、これまでの計画でかなり詳細に記載しているため、大きな変更はない。

また、第11期の計画から、プラスチック資源循環法に基づき製品プラスチックが対象品目に追加されている。

(委員) 製品プラスチックの処理方法はどうか。

(事務局) その他のプラスチック製容器包装と同じ扱いで、分別・排出の方法も同じである。

(会長) それでは、今ほど皆様から頂いたご意見等を踏まえ、答申書を作成することを私に一任いただき答申したいがいかがか。

(委員) 異議なし。

(4) 令和6年度ごみ排出状況について

(5) 令和6年度生活排水処理及び事業実施状況について

【資料に基づき一括して事務局より説明】

(会長) 5ページの町民ひとり1日あたりのごみの量、令和5年度が629g、6年度が628gで1gしか減らなかったということだが、この628gという数値は、県内でいうとどのあたりの位置づけなのか。

(委員) 令和5年度の福島県全体のひとり1日あたりのごみの量は968gである。

(事務局) 5ページで示した町民ひとり1日あたりのごみの量と、全国で公表されている一般廃棄物処理事業実態調査による住民ひとり1日あたりのごみの量は、算出方法が別で単純に比較できない。一般廃棄物処理事業実態調査の数値では、本町の令和5年度が915gとなっている。県内での順位等については、次回、一般廃棄物処理基本計画策定の審議の際にお示したい。

(会長) やはり都市部と農村部では、かなり燃やせるごみの水分量等も変わってくる。どこをどうすればさらにごみの量が減るのか、要因や対策についてさらに深める必要がある

のか、もしくは分別をさらに徹底すべきなのかといったところでかなり変わってくると思う。そういった点も含めて、次回また皆さんからご意見を頂戴したい。

(委員) 以前、野菜等の生ごみを使ってぼかし肥料を作るものに、町で助成していたと思うがそういったことはやらないのか。

(会長) 今、町では、生ごみ処理機、電動生ごみ処理機とコンポスト2種類あるが、それに助成を行っている。

5年度と6年度の実績を比べて1gしか減っていないとなると、やはり別な何かを考えないと5g、10gを減らすことは相当難しい。そうすると、今の実態はどうなのかということも見なくてはいけない。

今日の次第のところに「買う前に よく考えて それいるの?」という小学生が考えてくれた標語がある。申し訳ないが、子どものほうが良く考えているなど。ごみ減量化標語コンクールでは、ごみをどうしたら少なくできるか、リサイクルとか、そういったことを真剣に考えている標語が多かったので、私たち大人のほうがもっと学ばなければいけない、実践しなければならないと考えさせられる。

委員の皆様も、ぜひ、こういった標語等も目にとめていただいて、なるほどという思いを新たにしていいただければありがたい。

6 その他

【事務局より事務連絡】

7 閉 会

以上、開催記録として報告します。